

基本的な生活習慣・学習習慣づくり推進事業

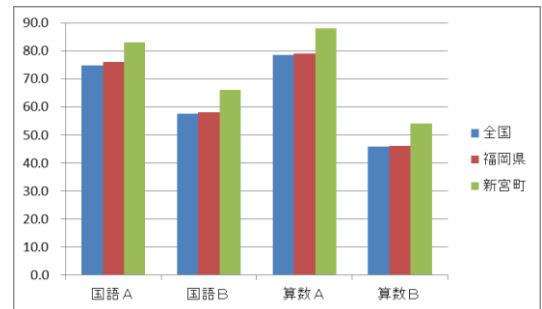
「家庭学習のすすめ」を活用した家庭学習強化週間の取組 まとめ



新宮町教育委員会

1. 本事業の取組内容について

本事業は、『家庭学習のすすめ』を活用して、学校と家庭とが連携・協力しながら、「学習の基礎をしっかりと身に付け、粘り強く家庭学習に取り組む児童生徒」を育成することを目指している。平成24年度からの継続事業である。その成果の一つとして、右記「全国学力・学習状況調査の概要」のグラフに示しているように、今年度も国語科・算数科において全国値を上回っている。(中学校も同様)



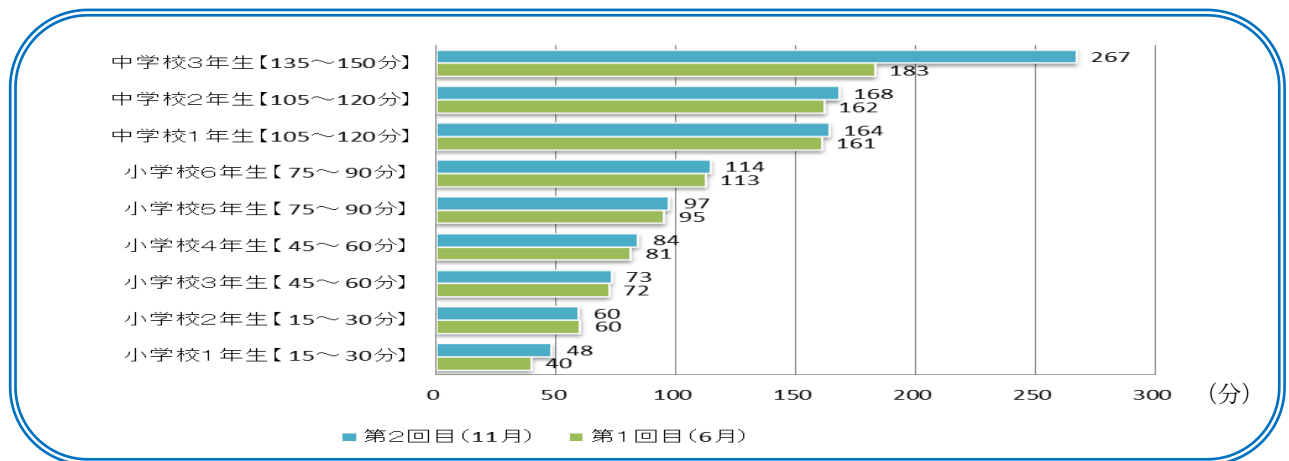
【本年度の新宮町、福岡県、全国の平均正答率の比較（小学校）】

本事業は以下のような手順で推進している。

- ①家庭学習強化週間（町内小中学校が同一日になるようにする）を年2回（6月と11月）設定する。
強化週間の前に、家庭学習のすすめ『がんばりカード』の活用方法について、保護者集会や学級懇談会等で保護者や子どもたちに向けて説明を行う。その際、「保護者の方への協力依頼文書（子どものがんばりに対する褒めや認め、励まし等の声かけ依頼）」を配布し、内容の周知を図る。
- ②取組終了後、『がんばりカード』を回収し、子どもたちが設定した目標達成状況・感想、本事業に対する保護者の意見を把握するとともに、取組の成果と課題をまとめ次年度に生かす。

2. 家庭学習時間等について ～『がんばりカード』の記入状況から～

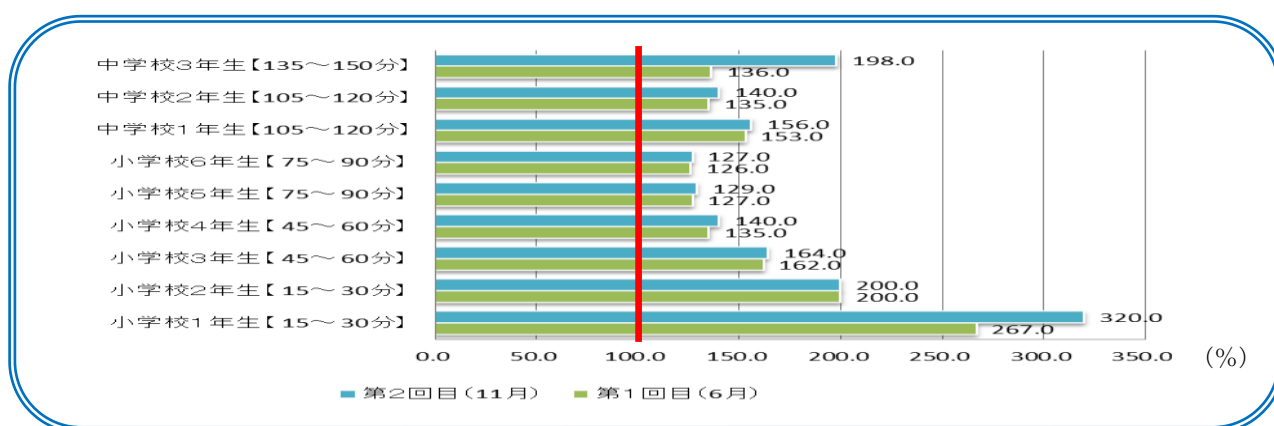
1日当たりの家庭学習時間とめやすの時間 【 】はめやすの時間



【考察】

本年度の結果から、1日あたりの家庭学習時間については、学年が上がるにつれ増加傾向にあり、発達段階に応じた家庭学習時間の確保ができていることがわかる。特に、中学校入学後、家庭学習時間が著しく増加している。また、学年毎にみると、中学校3年生が自らの進学や就職などの進路決定時期ということもあり、家庭学習時間が1日あたり4時間以上（第2回目：平均267分 昨年度：245分）と極めて高い値を示している。さらに、第1回目と第2回目とを比較すると、おおむね増加傾向にある。特に、中学校3年生の家庭学習時間が著しく増加している。

めやすの時間達成率

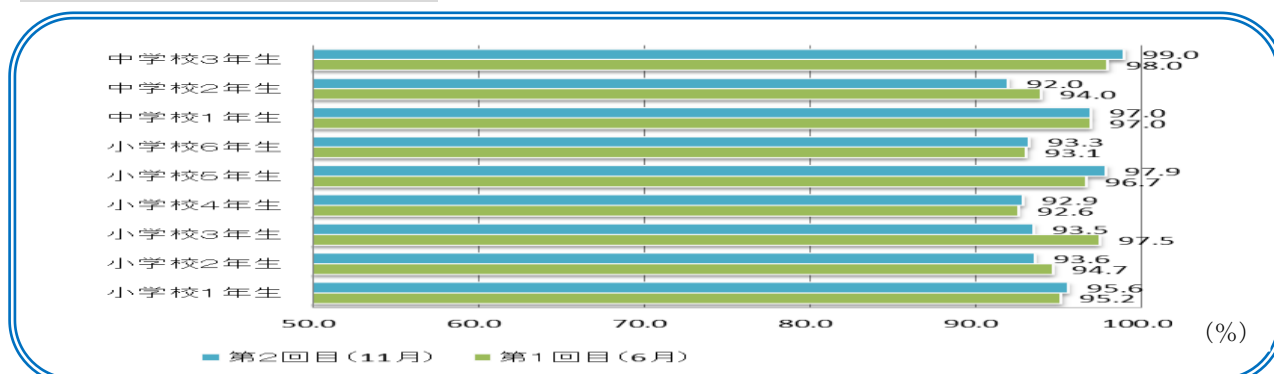


【考察】

本年度の結果から、めやすの時間以上に学習している児童生徒の割合（達成率）については、すべての学年で達成できている。（昨年度は第6学年が若干下回っていた。）学年毎にみると、小学校の1、2年生及び中学校の3年生に、めやすの時間以上に家庭学習を行っている児童生徒が多い傾向にあることがわかる。

3. 『がんばりカード』の提出状況について

『がんばりカード』の提出率



【考察】

本年度の結果から、『がんばりカード』の提出状況については、各学年ともに90%以上の提出率であることがわかる。今後も本事業に係る内容や方法について、各家庭への周知徹底や児童生徒への声かけ等（取組状況の聞き取り、がんばりに対する褒めや認め、励まし）を継続して行う。また、『家庭学習のすすめ』の活用方法（定期的に読み返し、内容を確認すること、低学年は保護者・教師が読んであげるなどして理解を深めさせること）や保管方法（小学校1年生から中学校3年生までの在学中は、定期的に活用するためきちんと保管しておくこと）などの児童生徒や保護者に対する説明の徹底を図ることが必要であると考えられる。

4. 今後に向けて

- 本事業に係る内容や方法について、説明する機会を増やしたり、説明方法を工夫したりするなどして、保護者や児童生徒への周知徹底を図る。
- 各学校の実態に応じた取組等を実態に応じて推進していく。
- 『がんばりカード』の記述内容（実施状況やアンケート）結果の公表（各家庭へ）に努める。